

今回は 夏休みに行われた関ジモト大学 の報告（その8）です。

◇ オンラインセミナー「関ジモト大学2021 online」

今年度は、昨年度に引き続きオンラインセミナーを実施しました。関市で活躍する「せき・まちづくりNPOぶうめらん」が主催する「関ジモト大学online」の場をお借りして、関市内の45企業と各企業のSDGsに関わる取り組みについての話を聞き、生徒が意見交換を行いました。

◇ 企業紹介

【めぐみの農業協同組合】

平成15年4月に管内5つのJA（中濃・郡上・おくみの・みのかも・可児）が合併し、「JAめぐみの」が誕生しました。以降、めまぐるしく変化する経済環境の中、地域に密着した金融・経済機関として活動を展開しています。

【HP】 <https://www.ja-megumino.or.jp/>



SDGs	取組中
1 貧困をなくそう	2 気候変動に脅かされる持続可能なまちづくりを
2 気候変動に脅かされる持続可能なまちづくりを	3 すべての人に健康と福祉を
3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに
4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう
5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も
8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを
11 住み続けられるまちづくりを	12 つくも減らそう
12 つくも減らそう	13 気候変動に具体的な対策を
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう
14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう
15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に
16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう

◇ 関ジモト大学を受けて 生徒の感想

・米粉をたくさん使って貰うために専用の米を開発したり、捨てるほうれん草を米粉パスタに混ぜて売るなど、工夫をしていることがわかった。農業事業者の高齢化が問題になっており、それを改善するために、トマトの学校という営農指導をしていることがわかった。とれたたひろばなどは食品ロスの改善以外にも、地産地消にも貢献していることがわかった。

・これまでは、農協は農業関係の仕事だけやっていると聞いていましたが、その他にも金融や保険など様々なことをしている事が自分たちの生活を支えてくれている素敵な仕事だと思いました。また、ただお客さんの話を聞くだけでなく、真摯にお客さんに寄り添っていて、とても地域に根付いた仕事だと思いました。また、食品ロスが出ないように色々な策を練って加工したり、安く販売したりしていて、そのような努力に驚きました。

・JAめぐみの（めぐみの農業協同組合）では、信用事業（JAバンクなどの銀行のようなもの）・共済事業（JA共済などの総合保障）・販売事業（地産地消の活動）・加工事業（明方ハムなど）の生活に関わる全てのことを総合事業でサポートしている。また、介護や葬祭、食農活動、子ども110番などのボランティア活動など、地域に寄り添う様々な仕事をしている。洞戸キウイでのSDGs活動にも取り組んでいる。今までJAめぐみのは、とれたた広場など農業のイメージだったが、地

地域の事を考え、様々な取り組みをしているという事がわかった。将来、私が働く時、地元で働きたいと思っているので、地域の人に寄り添う仕事をしてみたいと思った。

・めぐみのさんには、関高出身の方や、地元の方が多く働いていた。実際にどんな仕事をしているのかいまいちわかっていなかったけど、信用事業、共済事業、営農事業、販売事業、介護事業など、その他にも多くのことをサポートしていることを知った。生活に関することに関係していて、常にお客さんのことを考えて、役立てるように働いていることを知って、やりがいを感じられるすごい仕事だと思った。私も誰かのためになる仕事をしたいと思った。

・JAさんは、様々な分野で活動を展開していて、本当に地元を支えているように感じました。また、地元の農家さんに寄り添い、思いやりを持ちながら仕事をされていることを知る事が出来ました。僕たちはどこかでJAさんのお世話になっていると思います。感謝したいです。僕はJAさんも関わっている、キウイのたれの事業に参加しているので、その活動を通して、地元に貢献していきたいです。

・めぐみのさんについて講座を受ける前までは農業、銀行の仕事以外知りませんでした。ですが、講座を受けて農業、銀行の仕事以外にもたくさん仕事をしていることを知りました。特に、地産地消の「とれたたひろば」が素晴らしい活動だと思いました。地元で取れた野菜を作った人がもってきて、自分で値段を決めて、自分で並べると言うことが農家の人にとっても、買う側にとっても良い事だと思いました。また、農家の人に直接訪問して、相談に乗っているという優しさに感動しました。従業員のほとんどが地元の人だという事も地元愛が伝わってきました。

・自分はやはり農業のことが印象に残りました。やはり農業は食に直結するものであり衣食住の中でも最も生きるために大事な事だと思うからです。農業を発信して広める取り組みの中に郡上でトマト栽培体験を開催するというものがあるそうです。郡上の白鳥長滝で行うそうなので比較的涼涼な場所で自然に触れ合い農業により親しくなってもらう取り組みでした。地域の農業を守るには自分で作り、例えば肌で体験することが大事だと気づけました。自分も暇があれば参加したいと思いました。

・めぐみの農協では、『ほらどキウイを未来につなごうプロジェクト』としてクラウドファンディングを活用して洞戸キウイの苗木を買う資金を集めているそうです。キウイフルーツの苗木は、なんと500本も買う予定だそうです。また、頂いた資金のお礼として洞戸のキウイフルーツをプレゼントしているそうです。めぐみの農協さんの販売店ではほぼ全て国産のものを売っており安心安全に購入することができるそうです。地域と関わることを大切にしていることがよく分かりました。将来都会に行きたいとも思うけど、地元に戻るようになったら、JAさんで働きたいと思いました。

・JAめぐみでは、女性活躍推進法に基づく一般企業主行動計画という女性が管理職として活躍でき、有給休暇取得率向上に向け、雇用環境の整備を行うための活動を行なっていることを知った。目標には、女性管理職(課長級以上)を3名以上にすることと有給休暇取得率の10%以上増量を掲げている。SDGs17の目標の5つ目であるジェンダー平等を実現しようを達成するためにとっても大切な目標だと思う。

・家が自営業で、よくサポートしてもらっている農協さんについてたくさんを知れて良か

ったです。まず驚いたことは、お仕事の幅広さです。銀行のような役割から農業の方への指導、清掃活動、災害時の復興活動、さらに販売までしているということに驚きました。様々な面から地域の人や農家さんを支えているという事が分かりました。また、関高校の先輩である野村さんの話で、やりたいことがないまま、鳥取県の大学へ行き、そこから東京に行ったけれど、最後に地元である関に戻ってきたということを知って、地元や地域の人々をすごく愛しているのだと思いました。